

外来腫瘍化学療法について

安全な外来腫瘍 化学療法を実施するために

当院では、化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認するためにがん治療・化学療法 支援委員会を開催しています。

緊急時の対応について

下記の症状が発現したときは、受診を検討してください。

- ・ 38℃以上の発熱が半日以上続くとき
- ・ 下痢や吐き気が続き、水分や食事がとれないとき
- ・ 免疫チェックポイント阻害薬 を使用しており、冊子に記載のある症状が出て生活に支障をきたすとき
- ・ その他、気になる症状があるとき（出血、息苦しさ、だるさがつらくて動けない等）

夜間・休日：救急外来での受診を検討してください。

外来受診により症状が改善しない場合、緊急で入院できる体制を整備しております。

治療と仕事の両立支援について

治療と仕事の両立について、患者さんからの相談をお伺いしながら、療養と就労の両立に必要な主治医意見書の作成をはじめ、必要な支援を行っております。